

REDXIL 株式会社レドシル

会社名	株式会社レドシル
本社所在地	東京都千代田区飯田橋2-8-3 リードシー飯田橋ビル9F
代表者	西部剛史
設立日	2016年7月1日
資本金	1,000万円
従業員数	15名
事業内容	ビジネスプロセス・コンサルティング ITストラテジー & アドバイザリー プロジェクト・マネジメント・オフィス



経営や現場が直面する多様な事象に真摯に向き合い、一度きりの成功ではなく、継続的に成功する仕組み作りをクライアントとともに考え続ける、それが私たちの目指す姿です。

事業領域①

ビジネスプロセス・コンサルティング

業務プロセスの可視化を通じて問題点の抽出を行い、客観的な視点で最適な業務プロセスを構築し、成長の土台となる業務改革の実現をご支援する。

- ビジネスプロセス・リエンジニアリング (BPR)
- 内部統制構築
- 経営管理強化
- 人材・組織改革

会計、
内部統制の
知識に
裏付けられた
「業務構築力」

事業領域②

IT戦略&アドバイザー

IT戦略策定からシステム導入プロジェクトの企画、計画、管理、推進、運用後の安定稼働まで、公正かつ中立な立場で発注側の業務をご支援する。

- IT戦略・ガイドライン策定
- 実行計画支援
- 運用計画支援
- 品質管理・テスト管理

人と組織と
システムを
常に意識する
「問題解決力」

事業領域③

プロジェクト・マネジメント・オフィス

プロジェクトを成功に導くために、プロジェクトリーダーと共に、プロジェクト全体を統合し、統制・管理・推進を行う。

- プロジェクト・マネジメント・オフィス
- チェンジ・マネジメント

知っているを
当たり前にする
「知的好奇心」

ビジネスプロセス・コンサルティング

業務プロセスの可視化を通じて問題点の抽出を行い、客観的な視点で最適な業務プロセスを構築し、成長の土台となる業務改革の実現をご支援します。

ビジネスプロセス・リエンジニアリング (BPR)

将来の成長を見据え、業務本来の目的に向かってプロセスを抜本的に見直し、職務、業務フロー、管理機構の再構築を行います。

内部統制構築

企業が法令を遵守しながら、安定的に事業を運営し、ステークホルダーに対し適時に情報を開示することを可能にするルールや仕組みを整備します。

経営管理強化

予算企画から原価企画/管理、そして予実管理まで、環境変化の激しい時代の羅針盤となり、成長を加速させる経営管理機能を構築します。

人材・組織改革

組織全体の構造や仕組みを見直し、改善することを目指します。また改革により求められる成果を再定義し、継続した成長を後押しします。

ITストラテジー & アドバイザリー

IT戦略策定からシステム導入プロジェクトの企画、計画、管理、推進、運用後の安定稼働まで、公正かつ中立な立場で発注側の業務をご支援します。

IT戦略・ガイドライン策定

経営戦略の一部として企業の成長・発展を支えるIT戦略を策定します。また、ITを最大限に活用する、また適切なルールのもとで利用する為の指針を策定します。

実行計画支援

システム導入プロジェクトの企画から、RFP作成、ベンダ評価、プロジェクト計画書作成まで、プロジェクトの成功に向けて発注側として必要なタスクを遂行します。

運用計画支援

導入したシステムを最大限、かつ継続的に利活用する為、業務・システム両観点から運用計画策定を支援します。

品質管理・テスト管理

テスト方針、計画策定から管理、評価までの全プロセス、あるいは特定の領域に絞ってご支援し、システム品質向上に寄与します。

プロジェクト・マネジメント・オフィス

プロジェクトを成功に導くために、プロジェクトリーダーと共に、プロジェクト全体を統合し、統制・管理・推進をご支援します。

プロジェクト・
マネジメント・
オフィス

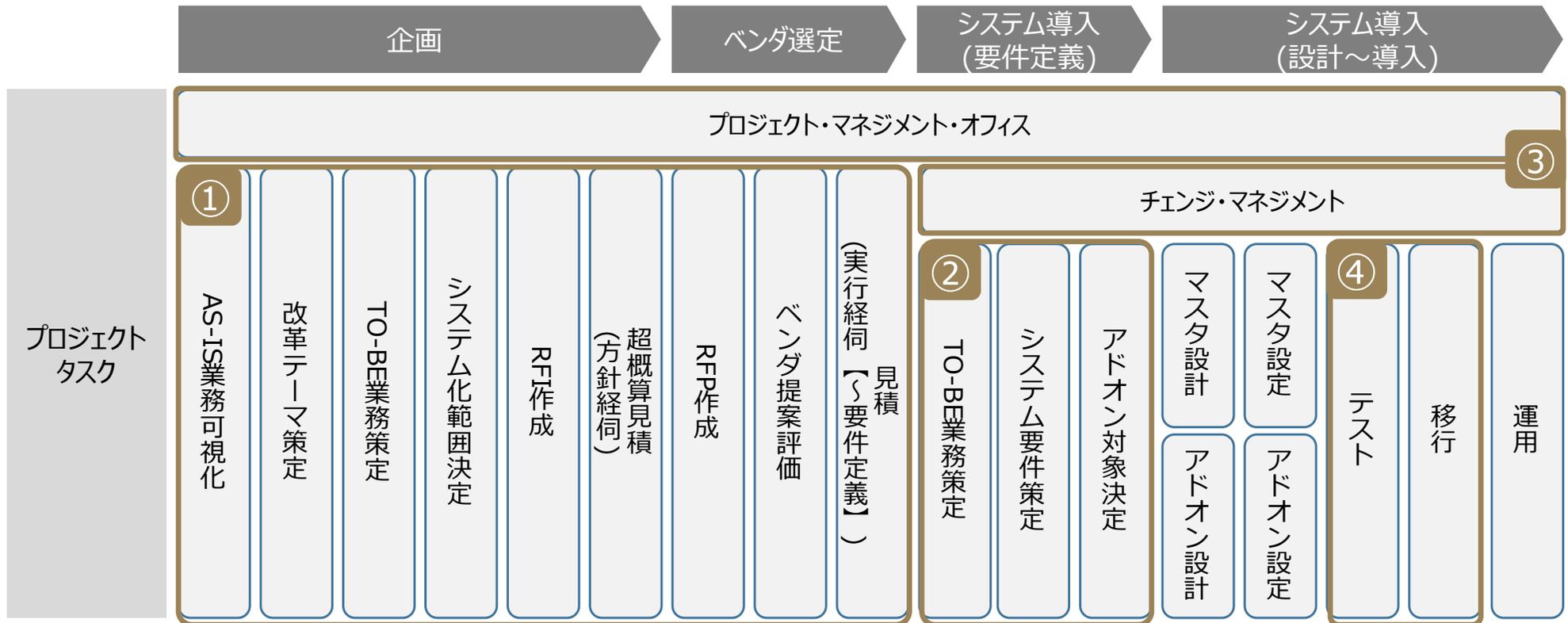
個々のプロジェクトマネジメント、あるいは複数のプロジェクトを統合的に管理するプログラムマネジメントにおいてクライアントリーダーをご支援しプロジェクトを強力に推進します。

チェンジ・
マネジメント

BPRやERP導入などを通して実装してきた業務変革を現場に浸透させる為の戦略策定や計画立案、実行、効果測定までをご支援します。

ERPパッケージ導入におけるご支援領域

会計、内部統制の知識に裏付けられた「業務構築力」を強みにユーザー企業の一連の業務とシステムを統合し、強固で柔軟な経営基盤を確立することをご支援します。



← 企画からシステム導入まで発注側業務を全方的にご支援。 →

レドシルの特徴	① 特に導入ベンダ様が関わり辛い、RFI/RFP作成、経伺についてもユーザー企業に深く入り込みプロジェクトを推進。	② 統制、特にJ-SOXを考慮した（P.8-10ご参照）BPRが可能。
	③ 上流工程はもちろん、システム導入フェーズにおける発注側業務も支援。	④ 非機能やインフラ領域の経験、知見から、テスト計画・推進や移行計画・推進も実施可能。

